

取組：指導と評価の一体化の促進を通じた児童生徒の英語力向上

当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

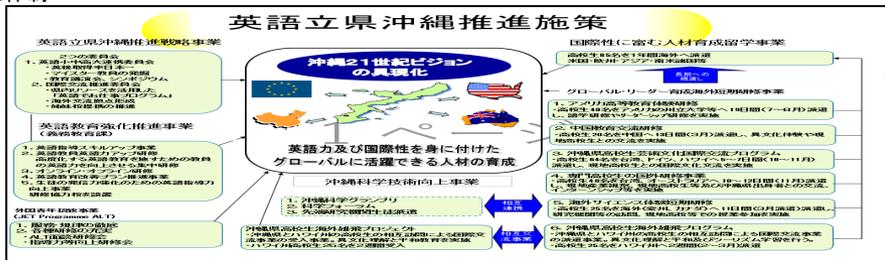
英語教育実施状況調査から見られる沖縄県の課題は、小学校では教師間の指導力の差が大きいこと、中学校では「求められ英語力を有する生徒の割合」が低いことである。要因として、小学校は具体的な指導方法の情報や効果的な教材の活用が少ないこと、中学校及び高校では、授業や単元の目標が不明確であること、指導と評価の一体化への理解が不足していることが考えられる。

Plan

■取組計画

- 【小学校】
 - ・学習指導要領の理解促進と実践的な研修会を通して教師の指導力向上を図る。
 - ・小学校英語専科教員による効果的な授業実践の情報交換と、指導と評価についての研究を深め、成果の普及を図る。
- 【中学校】
 - ・教科調査官招聘の研修会やテスト作成についての研修会等、年2回の研修会に繋がりを持たせ、指導と評価の一体化の促進を通して授業改善を図り、生徒の英語力向上を図る。
 - ・資質・能力を正しく測るテスト作成を通して、授業改善に繋げていく。
- 【高校】
 - ・英語に係る研修会等の実施を推進する。
 - ・中高連携を研修会を通して促進していく。

■体制



Do

■英語教育強化推進事業

- 【小学校】
 - ①小学校スキルアップ研修会
 - ・主に学習指導要領の理解と英語推進リーダーと英語専科教員を講師とした実践的なワークショップ。文部科学省視学官によるオンライン講話も全地区で実施。
 - ②小学校英語専科教員連絡協議会
 - ・CAN-DOリストについての情報共有や評価についての研究や協議を実施。
- 【中学校】
 - ①授業力アップ研修会の実施（調査官招聘）
 - ・教科調査官を招聘しての第1回の理論研と第2回の公開授業を伴った研究会。
 - ②中学校英語STEP UP研修会
 - ・大学教授等を招聘しての指導と評価の一体化を図るテスト改善に係る研修会。研修会で学んだことを基に各校で作成したテストを活用してのワークショップを実施。
- 【高校】
 - ①高校入試説明会
 - ・入試分析を基に、3技能（読む、聴く、書く）の向上に繋がる高校入試のあり方についての協議を実施。
 - ②英語担当中高連携研修会
 - ・県内6地区において実施する研修で、異校種の授業観察を実施。

■小学校CAN-DOリストの情報提供や英語教育についての通信

■2学期の定期考査及びパフォーマンステストを作成

■テスト作成ガイドブックの作成

Check

R3 英語教育実施状況調査結果

【小学校】

校種	指標内容	2021		
		目標値	達成値	
小学校	学習到達目標の整備状況	設定(%)	90%	57.1%
		公表(%)	90%	9.3%
		達成状況の把握(%)	90%	45.1%

【高等学校】

校種	指標内容	2021		
		目標値	達成値	
高等学校	①学習到達目標の整備状況	設定(%)	100%	89.2%
		公表(%)	89.0%	23.1%
	②パフォーマンステストの実施状況	達成状況の把握(%)	89.0%	51.0%
			89.0%	52.8%
	Oスピーキングテスト(国)	英語力向上	3回	1.0回
		英語力向上	3回	2.0回
		英語力向上	3回	1.5回
		英語力向上	3回	1.3回
		英語力向上	3回	1.3回
		英語力向上	3回	1.3回
	Oライティングテスト(国)	英語力向上	3回	1.6回
		英語力向上	3回	1.3回
英語力向上		3回	1.3回	
英語力向上		3回	1.6回	
英語力向上		3回	1.8回	
英語力向上		3回	1.8回	
③英語担当教員の授業における英語使用状況(%)		75.0%	52.1%	
④求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)		85.0%	84.0%	
⑤求められる英語力を有する生徒の割合(%)		50.0%	47.3%	

【中学校】

校種	指標内容	2021		
		目標値	達成値	
中学校	①学習到達目標の整備状況	設定(%)	100%	94.2%
		公表(%)	60.0%	46.0%
		達成状況の把握(%)	70.0%	61.1%
中学校	②生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	75.0%	63.7%	
中学校	③パフォーマンステストの実施状況	3回	3回	
中学校	④英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	83.0%	72.3%	
中学校	⑤求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	55.0%	60.8%	
中学校	⑥求められる英語力を有する生徒の割合(%)	37.0%	44.2%	



○小中連携の取組

達成値 61.1% 2019年度より16ポイント減少

Action

■成果と課題

【成果】小学校では、専科教員を通して具体的な指導方法や効果的な教材の周知が進んだ。また、指導と評価の一体化の理解が進み、特に、中学校で求められる生徒の英語力について令和元年度より、9.7pt上昇し、県の目標値を上回ることができた。

【課題】CAN-DOリストの設定と公表等の活用促進が必要。言語活動の更なる理解と充実を図る必要がある。また、コロナ禍のため、小中連携の取組がR3年度は弱かった。

《改善案》小学校はCAN-DOリスト作成委員会でのモデルとなるCAN-DOリストを作成し、県内への周知を図る。引き続き「指導と評価の一体化」の理解促進と、生徒の言語活動を充実させるための領域統合型の言語活動の理解促進を図る研修会を実施する。また、県版の「テスト作成ガイドブック」を作成し、各学校での活用を図る。小中連携については小中高連携研修会を実施し、小中のみならず、高校まで踏まえた連携の強化を図る。

成果の普及

- 県のWebシステムでテスト改善についての資料と動画のアップ
 - ・テスト作成ガイドブック
 - ・テスト作成ガイドブック活用の説明動画
- 小学校英語教育通信の発行
 - ・Enjoy English Togetherの発行
- その他の資料
 - ・各研修会等で周知